

ミレー、コロー  
クールベへの道

山寺 後藤美術館コレクション — ヨーロッパ絵画名作展 —

# 宮廷絵画からバルビゾン派へ

2012年 12月5日(水) ~ 2013年 1月29日(火)

会期中無休但し年末年始(12月28日~1月1日)は休館



ジャン=バティスト・グルーズ「小さな数学者」

- [開館時間] 午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)
- [入館料] 一般1,000円(4枚セット券3,000円)/大学生800円/高校生500円/中学生以下無料
- [主催] 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
- [協力] 山寺 後藤美術館
- [後援] 中日新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送、伊勢新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、朝日新聞社、シー・ティー・ワイ、ケーブルネット鈴鹿

講演会

- 2012年12月23日(日)午後2時から  
「何が描いてあるの—西洋絵画の絵解き・謎解き」 当館学芸企画部長 赤川一博
- 2013年1月5日(土)午後2時から  
「近代ヨーロッパ絵画 その芽生えから開花まで」 姫路市立美術館学芸員 山田真規子

コンサート

- 2012年12月9日(日)午後2時から  
「バロック宮廷音楽への誘い—17世紀ヨーロッパのみやび—」 三輪雅美(チェンバロ)
- 2013年1月20日(日)午後2時から  
「ピアノソロ&連弾で贈るフランス音楽~ヨーロッパ絵画とともに」 兼重優子(ピアノ) 長澤由希(ピアノ)



# 宮廷絵画からバルビゾン派へ

ミレー、コロ、クールベへの道

ルイ15世時代の宮廷絵画からバルビゾン派までを展示し、ルネサンスで開花した西洋芸術のその後の展開を約80点で一望します。

音楽の世界でモーツァルトやベートーベン、文学の世界でゲーテが、哲学の世界ではカントやヘーゲルが生まれた18世紀から19世紀。この世紀こそ、ヨーロッパが最も輝いていた時期でした。

美術の世界でもフランス王室を中心として華やかな作品が生まれます。そしてそれはフランス革命の試練を乗り越えて、市民による市民の美術という人類史上最高の果実を手に入れました。

この展覧会では、全ての人が、芸術を謳歌できる世界。このような世界を創り出した「ヨーロッパ美術」の精華をお楽しみください。



ジャン＝マルク・ナティエ  
「落ちついた青色の服」



コンスタン・トロワイヨン  
「小川で動く人々」



ジャン＝フランソワ・ミレー  
「ポーリーヌ・オノの叔父、ギヨーム・ルミイの肖像」



ギュスターヴ・クールベ  
「ピュイ・ノワール渓谷」

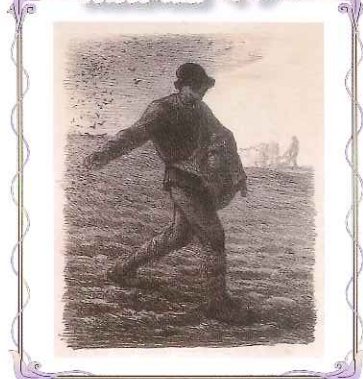


ジョゼフ＝マラード＝ウィリアム・ターナー  
「ウスターシャーの眺め」



パウル＝エミール・チャブス  
「ディアナ」

## 特別出品 ミレー



ジャン＝フランソワ・ミレー  
「種をまく人」

次回展覧会予告

開館10周年特別企画

**生誕110周年記念**

**ウォルト・ディズニー展**

[会期] 2013年2月1日(金)～3月31日(日)

